

都市再生整備計画事業 事後評価シート  
子育て・医療が連携したまち計画地区

令和7年6月

岐阜県美濃加茂市

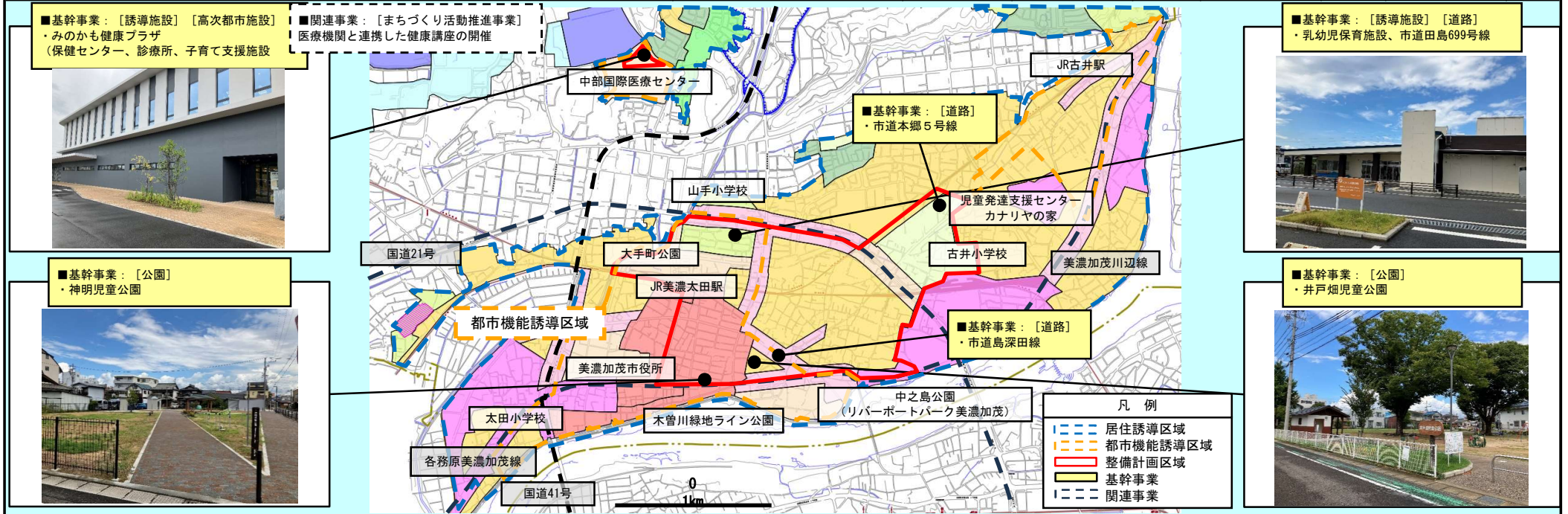
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	美濃加茂市		地区名	子育て・医療が連携したまち計画地区			面積	172ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	2,393.5百万円	国費率	0.499				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路整備事業、公園整備事業、子育て世代活動支援センター整備事業、医療施設整備事業、社会福祉施設整備事業、子育て支援施設整備事業									
			提案事業	事業効果分析事業									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業										
		提案事業											
新たに追加した事業		基幹事業											
		提案事業											
交付期間の変更		当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
		変更											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	(仮)乳幼児保育施設の満足度	%	71	H30	80	R6	-	95	○	あり	老朽化した保育施設を統合し、新たに乳幼児保育施設とその前面道路を中心市街地に整備したことで、耐震性や利便性の向上及び充実した子育てサービスの提供により、保育施設利用の満足度が高まった。加えて、子供が安全に遊べる近隣の児童公園(神明、井戸畑)も再整備したことで、子育て環境の満足度が高まった。	
	指標2	診療所利用者数	人/年	14,297	H30	16,300	R6	-	16,876	○	あり	「みのかも健康プラザ」を医療拠点である中部国際医療センターに隣接して整備したことで、診療所や保健センター等の機能を持つ医療拠点としての利便性が高まり、健康増進等を目的とする診療所利用者数が増加した。加えて、整備前は他施設で実施せざるを得なかった健康講座等を保健センター内で実施できるようになり、来所人数も増加した。	
指標3	健康増進、子育て支援等のための講座等の開催数	回/年	209	H30	260	R6	-	418	○	あり	「みのかも健康プラザ」を医療拠点である中部国際医療センターに隣接して整備したことで、保健センター、子育て支援拠点施設にて健康増進、子育て支援等に関連する講座の開催数が増加した。加えて、まちづくり活動推進事業を活用することで、医療機関と連携した健康講座も開催し、総じて健康増進、子育て支援等のための講座開催数が増加した。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
その他の数値指標2													
4) 定性的な効果発現状況	特になし												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	官民連携による取組状況	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	「いど畑会議(任意団体)」による、井戸畑児童公園の維持管理および地域交流イベント(井戸畑フェスタ等)の開催が「みのかも版ネウボラ」を促進している。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民が主体となり安心して子育てが可能な市民拠点として活用することで、JR美濃太田駅を中心とした都市拠点における子育て世代のネットワーク形成を促す。					

## 様式2-2 地区の概要

### 子育て・医療が連携したまち計画地区(岐阜県美濃加茂市)の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
市の中心市街地における子育て環境の整備、市民活動が活性化する施設の整備と民間医療機関等と連携したメディカルシティ構想の実現 目標1: 市立保育園を統合し、中心市街地に新たな(仮)乳幼児保育施設を建設すること、隣接する2公園を整備することによる、子育て環境の満足度の上昇 目標2: 子どもから大人まで広く活用され、市民の健康増進の核となる診療所の整備、活用 目標3: 子育て世代を孤立させない、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を目標とするみのかも版ネウボラの推進	(仮)乳幼児保育施設の満足度	71 H30	80 R6	95 R6
	診療所利用者数	14,297 H30	16,300 R6	16,876 R6
	健康増進、子育て支援等のための講座等の開催数	209 H30	260 R6	418 R6



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>□令和4年に老朽化した保育施設を統合し、新たに乳幼児保育施設を中心市街地に整備したことで、利便性や耐震性の向上及び充実した子育てサービスの提供により、子育て環境が改善し、施設利用に対する満足度が高まった。</li> <li>□建物の老朽化や求められる保健事業に対する狭隘性が問題となっていた旧保健センターを、令和4年に新設されたみのかも健康プラザに移転することで、快適な施設利用が可能となった。</li> <li>□妊娠期からのワンストップ子育て支援を目標とした「みのかも版ネウボラ」の実現に向けて、中部国際医療センターに隣接して整備したみのかも健康プラザで健康増進・子育て支援等の講座を開催することで、医療拠点における健康・子育て支援等を促進する核となる施設として活用が進んだ。</li> <li>□再整備のニーズが高まっていた中心市街地の街区公園である井戸畑児童公園と神明児童公園で、ワークショップに基づいた再整備を実施した。</li> <li>□再整備後は、井戸畑児童公園のワークショップメンバーから構成される任意団体「いど畑会議」が公園維持・運営に取組み、地域交流イベントを定期的に開催することで、市民活動の拠点として公園活用が促進されている。</li> <li>□都市機能誘導区域として指定されている医療拠点(蜂屋南地区)では、診療所や保健センターに加えて、商業施設、トレーニングジムを内包するみのかも健康プラザを整備した。また、都市拠点(美濃太田駅周辺地区)では、乳幼児保育施設や井戸畑児童公園、神明児童公園に加え、アクセス道路の歩行空間を整備したことにより、各種施設が集約し、拠点の利便性が向上した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□医療拠点を活用した「みのかも版ネウボラ」の実現に向けて、「みのかも健康プラザ」等の医療施設において、診療所利用だけでなく官民連携のイベント開催等を実施し、地域交流機会の創出に取り組む。</li> <li>□都市拠点において、街区公園等の市民拠点を活用した安心・安全な子育て環境の創出に向けて、地域住民を主体とした維持管理・運営による積極的な公園の利活用を通して地域住民のネットワーク形成に取り組む。</li> <li>□日々変化する社会情勢や暮らし方・働き方に対応するために、健康増進や子育て・女性活躍等の多様なニーズに合った支援活動や講座開催について実施内容や実施方法を調査し、調査を踏まえた取組を実施する。</li> <li>□施設老朽化により、利便性、安全性、快適性等に課題が残る保育施設において、利用者の子育て環境に対する満足度に関するアンケート結果を分析し、建て替え又は一部改装等の取組を実施する。</li> <li>□第6次総合計画で掲げる基本構想「ウオーカブルシティMinokamo「すべての健康のために、歩き続けるまち」」の実現に向け、各拠点へ医療や子育て等の機能を集積し、健康で豊かな暮らしに向けた取組を実施する。</li> </ul>